

「わたしたちごと」としてのケア — 建築・都市と関係性をめぐって

学習時間

合計約 **4** 時間

対象者

入門レベル 初級レベル 中級レベル 発展レベル

開催場所

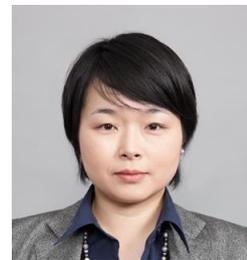
貴社指定場所
(応相談)

「ケア」の視点で建築と都市を見つめなおす

「そこであってあたりまえ」であるためにその価値やそれによる制限が認知されにくい、建築や都市のデザイン。ケアもまた、それと認識されにくく意識されにくいものであり、人によってイメージや受け止めが多様でもあります。ケアを自分ごととして捉え、実践していく必要がありますが、同時にそれが自分に閉じないこと一すなわち、「わたしたちごと」として関係性のもとにそれを引き受けることがより重要です。

このセミナーでは、ケアや関係性、ノーマライゼーションといったキーワードをひもときながら、誰もが自分たちごととしてケアを担い、受け取る社会のあり方を目指し、公・共・私のグラデーションや越境の中に活動や場所を見いだし、つくっていくことについて考えます。

講師プロフィール



山田 あすか

東京電機大学未来科学部建築学科・教授

東京都立大学大学院工学研究科博士課程修了、学位取得（博士（工学））。日本学術振興会特別研究員（DC1、PD）、立命館大学理工学部建築都市デザイン学科講師、東京電機大学未来科学部建築学科准教授を経て現職。専門は建築計画、環境行動。主な受賞歴に日本建築学会賞（論文）、キッズデザイン賞など。主な著書に、『ケアする建築—「共在の場」の思想と実践』『ひとは、なぜ、そこにいるのか 「固有の居場所」の環境行動学』『ワークブック環境行動学入門』など。

<https://researchmap.jp/read0210383>



キーワードの共有

時代を映すキーワードを挙げながら、なぜいまそれが注目されているのかを考え、問題意識を共有します



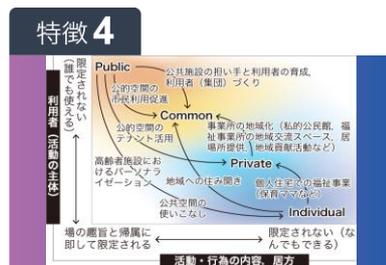
例えば、認知の特性に配慮した環境づくり

環境や、環境による適切な支援によって人々の生活はより豊かになります



豊富な現場写真で、具体的にイメージしながら

具体的な場所で人々が過ごしている様子を見ながらイメージを膨らませます



対話やグループワークを取り入れた形式にも対応

具体的な場所づくりや場所への評価、企画提案などを対話・グループワークを取り入れて体験することもできます

プログラム

1 現代社会とケア、場所をめぐる話題の整理		
(1)	経済的生産と社会的再生産	#ケアする民主主義 #脱経済的生産性偏重主義
(2)	コモンと地域資源	#地域拠点性 #コミュニティビジネス #公・共・私
(3)	居場所と出会い	#偶然と混沌 #ただ居ること
(4)	共生と文化	#フィルター #開くと閉じる
2 建築学から見た「ケア」		
(1)	建築学の概要とケア	#用強美 #環境行動・環境心理
(2)	建築分野での「施設」の解体と再編	#解体と再編 #施設 #つくるから使うへ #機能分化
(3)	ケアの社会化と施設の変化	#社会制度と施設 #ケアの社会化
(4)	権力としてのアーキテクチャ	#アーキテクチャ
3 ケアについての再考		
(1)	環境化された社会構造と思想を読みほぐす	#弱さの再発見 #有徴化に見るあたりまえを疑う #自立と依存
(2)	関係性で引き受ける	#他者と関係性
(3)	公共私グラデーション	#公共私 #担い手
(4)	ノーマライゼーションとインフォーマルケア	#ノーマライゼーション #インフォーマルケア
4 ケアが練り込まれた環境		
(1)	認知症と環境によるケア	#環境づくり #認知症ケア環境 #環境づくりの構造
(2)	サードプレイスと健康的なまち	#サードプレイス #定食と健康的なまち
(3)	弱いことはあたりまえのこと	#弱さの再発見 #弱さの自己開示
(4)	プライベート・イニシアチブな場所づくり	#まちの居場所 #場所を介したまちづくり
5 結果としてもたらされる		
(1)	テーマとフィルタ、コストのコントロールで場をつくる	#テーマ #フィルタードスペース #複合的な課題を複合的に解く
(2)	「自分たちごと」と関係性	#DIY からDIOへ #開かれた〇〇 #参加型と主体性
(3)	「じゃない（オルタナティブス）」を求めて	#変化とオルタナティブス #イノベーションをつくる
(4)	プレイス・ベースドの関係づくり	#ケアする建築 #プレイス・ベースド・ソーシャル・ジャスティス

本講義内容・時間をご提案です。

実際には、ご希望をうかがった上で、内容や時間など御社に最適なプログラムとなるようカスタマイズいたします。

ご質問・お申し込みは、お気軽に担当者または右記窓口までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

東京電機大学 リスキリング事務局

Eメール：information-tdudtec@jim.dendai.ac.jp

電話：03-5284-5202（学長室内）

（3営業日を目安にご連絡いたします）